

文学研究科

英文学専攻

科目名	英文学演習 I a	前期	2 単位
サブタイトル	Kazuo Ishiguro, Klara and the Sunを読む		
担当者	西出 良郎		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 日系のイギリス人作家 Kazuo Ishiguro の Klara and the Sun (2021)を読み、小説の技巧について理解する			
[授業概要] Klaraは、子供の友人として作られた人工知能をそなえたAF(Artificial Friend)である。優れた観察力をそなえたKlaraの視点から語られる物語には、ロボットらしい、あるいは子供らしいゆがみが見られるが、そのことがかえてKlaraの純粋さ、心優しさを伝える効果を持つ。この授業では、小説の技巧について理解を深めるのを目標とする。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業当日の予習は不可欠である。			
[授業計画] 1. Introduction 2. Part 1 (1) 3. Part 1 (2) 4. Part 1 (3) 5. Part 2 (1) 6. Part 2 (2) 7. Part 2 (3) 8. Part 3 (1) 9. Part 3 (2) 10. Part 3 (3) 11. Part 3 (4) 12. Reveiw1 13. Review 2			
[成績評価方法] 授業への取り組み (50%), レポート(50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書 (ISBN)]			
[参考書 (ISBN)]			

科目名	英文学演習 I b	後期	2 単位
サブタイトル	Kazuo Ishiguro, Klara and the Sunを読む		
担当者	西出 良郎		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 日系のイギリス人作家 Kazuo Ishiguro の Klara and the Sun (2021)を読み、小説の技巧について理解する			
[授業概要] Klaraは、子供の友人として作られた人工知能をそなえたAF(Artificial Friend)である。優れた観察力をそなえたKlaraの視点から語られる物語には、ロボットらしい、あるいは子供らしいゆがみが見られるが、そのことがかえてKlaraの純粋さ、心優しさを伝える効果を持つ。この授業では、小説の技巧について理解を深めるのを目標とする。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業当日の予習は不可欠である。			
[授業計画] 1. Introduction 2. Part 4 (1) 3. Part 4 (2) 4. Part 4 (3) 5. Part 5 (1) 6. Part 5 (2) 7. Part 5 (3) 8. Part 5 (1) 9. Part 6 (2) 10. Part 6 (3) 11. 映画(1) 12. 映画(2) 13. Review			
[成績評価方法] 授業への取り組み (50%), レポート(50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書 (ISBN)]			
[参考書 (ISBN)]			

科目名	英文学演習Ⅱa	前期	2 単位
サブタイトル	ヴィクトリア朝を代表するイギリスの絵画論を読む		
担当者	野末 紀之		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 19世紀イギリスを代表する文学者にして思想家のラスキンの絵画論とそれに反応(反発)したペイターとホイッスラーの絵画論を精読することにより、当時の絵画について、また言語と視覚芸術の関係について考察を深めることが目標である。			
[授業概要] ラスキン、ペイター、ホイッスラーら、19世紀ヴィクトリア朝の代表的な文学者たちの絵画をめぐる論考を取上げ、それがどのようなものとして位置づけられ、また価値づけられていたのかを、現代的観点をふまえながら考察する。前期では、ラスキンの絵画論を取上げる。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で取上げる箇所を十分予習する必要がある。難解なので、翻訳があるものについては利用してほしい。			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. ラスキン『近代画家論』(1) 3. ラスキン『近代画家論』(2) 4. ラスキン『近代画家論』(3) 5. ラスキン『近代画家論』(4) 6. ラスキン『近代画家論』(5) 7. ラスキン『近代画家論』(6) 8. ラスキン『近代画家論』(7) 9. ラスキン『近代画家論』(8) 10. ラスキン『近代画家論』(9) 11. ラスキン『近代画家論』にかんする同時代批評(1) 12. ラスキン『近代画家論』にかんする同時代批評(2) 13. まとめと質疑応答			
[成績評価方法] 授業参加度(60%)、レポート(40%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	英文学演習Ⅱb	後期	2 単位
サブタイトル	ヴィクトリア朝を代表するイギリスの絵画論を読む		
担当者	野末 紀之		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 19世紀イギリスを代表する文学者にして思想家のラスキンの絵画論と、それに反応(反発)したペイターとホイッスラーの絵画論を精読することにより、当時の絵画について、また言語と視覚芸術の関係について考察を深めることが目標である。			
[授業概要] ラスキン、ペイター、ホイッスラーら、19世紀ヴィクトリア朝の代表的な文学者たちの絵画をめぐる論考を取上げ、それがどのようなものとして位置づけられ、また価値づけられていたのかを、現代的観点をふまえながら考察する。後期は、ラスキンに対抗したペイターとホイッスラーの絵画論を取上げる。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で取上げる箇所を十分予習すること。翻訳があるものについては利用してほしい。			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. ラスキンとペイター 3. ペイター「ジョルジョーネ派」(1) 4. ペイター「ジョルジョーネ派」(2) 5. ペイター「ジョルジョーネ派」(3) 6. ペイター「ボッティチェッリ論」(1) 7. ペイター「ボッティチェッリ論」(2) 8. ラスキンとホイッスラー 9. ホイッスラー「十時」(1) 10. ホイッスラー「十時」(2) 11. ホイッスラー「十時」(3) 12. ホイッスラーの絵画論にかんする批評 13. まとめと質疑応答			
[成績評価方法] 授業参加度(60%)、レポート(40%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	英文学特論 I a	前期	2 単位
サブタイトル	シェイクスピアのローマ史劇		
担当者	西出 良郎		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 演劇はすべて舞台上演することを意図して書かれたものであるという前提に立って、戯曲の読み方を学び、シェイクスピアのローマ史劇の理解を深めることを主たる目標とする。 修士論文執筆に向けて、レポートの作成に習熟することも併せて目指したい。			
[授業概要] ローマの歴史家プルタルコス『英雄伝』を素材として、シェイクスピアは『ジュリアス・シーザー』、『アントニーとクレオパトラ』、『コリオレイナス』という3作の戯曲を残してる。個々の作品の源材となったプルタルコスを比較検討することで、劇作家の工夫を探る。 毎回数頁程度精読していく。ローマ共和政初期の軍人の没落を描く『コリオレイナス』、共和政を維持しようとするブルータスらのジュリアス・シーザー暗殺が、皮肉にも共和政の崩壊を招く様子を描く『ジュリアス・シーザー』、帝政に向かうローマの権力闘争を描く『アントニーとクレオパトラ』を取り上げ、近代初期イングランドの政治・文化がどのように反映されているかに注意をはらう。 なお、受講生との相談により教材を変更する場合もあり得る。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業でとり上げる部分の予習は毎回不可欠である。			
[授業計画] 1. Introduction 2. Julius Caesar 1 4. Julius Caesar 2 5. Julius Caesar 3 6. Julius Caesar 4 7. Julius Caesar 5 8. Julius Caesar 6 9. Julius Caesar 7 10. Antony and Cleopatra 1 11. Antony and Cleopatra 2 12. Antony and Cleopatra 3 13. Review			
[成績評価方法] 授業へのとり組(50%), レポート((50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	英文学特論 I b	後期	2 単位
サブタイトル	シェイクスピアのローマ史劇研究		
担当者	西出 良郎		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 演劇はすべて舞台上で上演することを意図して書かれたものであるという前提に立って、戯曲の読み方を学び、シェイクスピアのローマ史劇の理解を深めることを主たる目標とする。 修士論文執筆に向けて、レポートの作成に習熟することも併せて目指したい。			
[授業概要] ローマの歴史家プルタルコス『英雄伝』を素材として、シェイクスピアは『ジュリアス・シーザー』、『アントニーとクレオパトラ』、『コリオレイナス』という3作の戯曲を残してる。個々の作品の源材となったプルタルコスを比較検討することで、劇作家の工夫を探る。 毎回数頁程度精読していく。ローマ共和政初期の軍人の没落を描く『コリオレイナス』、共和政を維持しようとするブルータスらのジュリアス・シーザー暗殺が、皮肉にも共和政の崩壊を招く様子を描く『ジュリアス・シーザー』、帝政に向かうローマの権力闘争を描く『アントニーとクレオパトラ』を取り上げ、近代初期イングランドの政治・文化がどのように反映されているかに注意をはらう。 なお、受講生との相談により教材を変更する場合もあり得る。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で取り上げる部分の予習は不可欠である。			
[授業計画] 1. Introduction 2. Antony and Cleopatra 4 3. Antony and Cleopatra 5 4. Antony and Cleopatra 6 5. Antony and Cleopatra 7 6. Coriolanus 1 7. Coriolanus 2 8. Coriolanus 3 9. Coriolanus 4 10. Coriolanus 5 11. Coriolanus 6 12. Coriolanus 7 13. Review			
[成績評価方法] 授業への取り組み(50%), レポート(50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	英文学特論Ⅱa	前期	2 単位
サブタイトル	メアリ・シェリーの『フランケンシュタイン』(1818)を読む。		
担当者	野末 紀之		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] ゴシック小説の代表作を精読することにより、ジャンルとしてのその特性を理解するとともに、獲得した知見を専門的な研究に応用できることが目標となる。			
[授業概要] 人間にたいする科学・医学の横暴を描き、人間とは何かを問うゴシック小説の代表作を精読する。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で取上げる箇所を、語彙・語法面また内容面で十分に予習し、疑問点は整理しておく。翻訳があるので利用してほしい。			
[授業計画] 1 イントロダクション 2 『フランケンシュタイン』第1巻読解(1) 3 『フランケンシュタイン』第1巻読解(2) 4 『フランケンシュタイン』第1巻読解(3) 5 『フランケンシュタイン』第2巻読解(1) 6 『フランケンシュタイン』第2巻読解(2) 7 『フランケンシュタイン』第2巻読解(3) 8 『フランケンシュタイン』第3巻読解(1) 9 『フランケンシュタイン』第3巻読解(2) 10 『フランケンシュタイン』第3巻読解(3) 11 『フランケンシュタイン』(1831)における変更(1) 12 『フランケンシュタイン』(1831)における変更(2)と著者の序文 13 問題点の整理			
[成績評価方法] 授業への参加度(60%)、レポート(40%)による			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)] 書籍名:Frankenstein 著者名:Mary Shelley 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780198840824			
[参考書(ISBN)] 書籍名:メアリ・シェリー 『フランケンシュタイン』から〈共感の共同体〉へ 著者名:シャーロット・ゴードン(小川公代訳) 出版社名:白水社 ISBN:9784560091449			

科目名	英文学特論Ⅱb	後期	2 単位
サブタイトル	メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』と現代文学研究		
担当者	野末 紀之		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 当該作品にかんするさまざまな研究論文を批判的に読むことにより、それらの分析方法を自分の専門的な研究に活かすことが目標である。			
[授業概要] 前期授業をふまえ、作品にかんする批評理論の内実と問題点を丁寧に学ぶ。獲得した知見をみずからの専門研究に活かす。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 予習復習2時間			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. 伝統的批評 3. 構造主義批評(1) 4. 構造主義批評(2) 5. フェミニズム批評(1) 6. フェミニズム批評(2) 7. ポストコロニアリズム批評(1) 8. ポストコロニアリズム批評(2) 9. 読者反応批評(1) 10. 読者反応批評(2) 11. 脱構築批評(1) 12. 脱構築批評(2) 13. まとめと質疑応答			
[成績評価方法] 授業参加度(40%)、レポート(60%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)] 書籍名:批評理論入門 『フランケンシュタイン』解剖講義 著者名:廣野由美子 出版社名:中央公論新社 ISBN:978412101790			
[参考書(ISBN)]			

科目名	応用言語学演習(英語教育) a	前期	2 単位
サブタイトル			
担当者	J. ファハード		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] This course focuses on English language teaching theories used in Second Language Learning. Some theories include, grammar-translation method, audio-lingual method, communicative language teaching, language-immersion. The class will end with a final paper and presentation on the paper.			
[授業概要] テキストを精読した上で、問題点を議論していく。受講生は指定の箇所を精読し、疑問点等を明確にした上で授業に臨むことが求められる。授業中に各自がテキストの内容に即した研究テーマを選んで文献調査を実施し、その成果をレポートにまとめる。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] ・授業前: 次回に扱う予定の範囲を精読しながら、必要に応じて関連文献にも当たる。 ・授業後: 再度同じ箇所を精読し、その内容と問題点の理解を深める。			
[授業計画] 1. Orientation 2. Structural methods – grammar translation 3. Structural methods – audio lingual method 4. Communicative language teaching (1) 5. Communicative language teaching (2) 6. Communicative language teaching (3) 7. Language immersion (1) 8. Language immersion (2) 9. Language immersion (3) 10. Final report topic selection 11. Final draft check 12. Final draft check 13. Final report presentation			
[成績評価方法] 研究発表を含めた授業参加(40%)＋レポート(60%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	応用言語学演習(英語教育) b	後期	2 単位
サブタイトル			
担当者	J. ファハード		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] This class focuses on research of topics in English linguistics. Students will have a better understanding on topics of their choice.			
[授業概要] The class will discuss issues based on a close reading of the text. Students are expected to read the designated sections carefully and clarify any questions before coming to class.			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] Students will carefully read the material to be covered in the next class and consult related literature as necessary.			
[授業計画] 1. Orientation 2. Introduction to English Linguistics 3. Topics: bilingualism and multilingualism 4. Topics: phonetics and phonology 5. Topics: syntax 6. Topics: semantics 7. Topics: pragmatics 8. Topics: sociolinguistics 9. Topics: psycholinguistics 10. Final research topic 11. Final paper draft check 1 12. Final paper draft check 2 13. Final paper report			
[成績評価方法] 研究発表を含めた授業参加(50%)＋レポート(50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	応用言語学特論(英語教育) a	前期	2 単位
サブタイトル			
担当者	J. ファハード		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] This class focuses on research and methods on developing language learning curriculum.			
[授業概要] This course will be focused on the basics of second language acquisition. Course content will focus mostly on research involving English language aquisition (SLA), particularly in leading theories such as universal grammar, input hypothesis, output hypothesis, and interaction hypothesis.			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で提示されたアイデアや説明、分析などを常に批判的に検討し、より良い代案を提示できるように考えを巡らせておく。			
[授業計画] 1. Orientation 2. Theories – Universal Grammar (1) 3. Theories – Universal Grammar (2) 4. Theories – Input Hypothesis (1) 5. Theories – Input Hypothesis (2) 6. Theories – Interaction Hypothesis (1) 7. Theories – Interaction Hypothesis (2) 8. Theories – Output Hypothesis (1) 7. Theories – Output Hypothesis (2) 9. Report topic submission 10. Final report draft check 11. Final report draft check 12. Final report draft check 13. Final report presentation			
[成績評価方法] 授業中の課題(30%)＋レポート(70%) 授業中の課題は授業中にフィードバックをします。 レポートは講評を付けて返却します。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	応用言語学特論(英語教育) b	後期	2 単位
サブタイトル			
担当者	J. ファハード		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] This class focuses on research and methods on developing language learning curriculum.			
[授業概要] The class will discuss issues based on a close reading of the text. Students are expected to read the designated sections carefully and clarify any questions before coming to class.			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] Students will carefully read the material to be covered in the next class and consult related literature as necessary.			
[授業計画] 1. Orientation 2. Introduction to making language programs 3. Needs analysis (1) 4. Needs analysis (2) 5. Needs analysis (3) 6. Survey making (1) 7. Survey making (2) 8. Survey analysis (1) 9. Survey analysis (2) 10. Final research topic 11. Final paper draft check 1 12. Final paper draft check 2 13. Final paper report			
[成績評価方法] 研究発表を含めた授業参加(50%)＋レポート(50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	米文学演習 I a	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇研究		
担当者	坂元 敦子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] アメリカ人劇作家による戯曲を英語で読み、アメリカ演劇に対する理解を深める。			
[授業概要] この授業ではアメリカを代表する劇作家であるTennessee Williamsの作品をとりあげ、丹念に読みながら作品にみられるアメリカ社会の特徴について考察する。作品の映画版と比較をおこなったり、原作に関する批評の検討もおこなうなど、さまざまな角度からアメリカ演劇について考察する。 原作を英語で読み、作品に関する批評等も英語で読むので、受講生は必ず毎回予定している範囲を予習することが必要である。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 毎回、次の授業で読む範囲を予習すること。必ず辞書を使い、わからない単語や表現その他を細かく調べていることを前提とする。また複数回課題があるので、レポートを提出すること。			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. アメリカ演劇の特徴 3. テネシー・ウィリアムズと南部作家 4-6. ウィリアムズ作品を丁寧に読み、作品に見られるアメリカの特徴について考察する。 7. 中間のまとめ、発表 8-12. ウィリアムズの作品を丁寧に読み、作品にみられるアメリカの特徴について考察する。 13. まとめとレポート提出			
[成績評価方法] 授業への取組(40%)、レポート(60%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)] 書籍名:A Streetcar Named Desire 著者名:Tennessee Williams 出版社名:New Directions ISBN:			
[参考書(ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	米文学演習 I b	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇研究		
担当者	坂元 敦子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] アメリカ人劇作家による戯曲を英語で読み、アメリカ演劇に対する理解を深める。			
[授業概要] この授業ではアメリカを代表する劇作家であるTennessee Williamsの作品をとりあげ、丹念に読みながら作品にみられるアメリカ社会の特徴について考察する。作品の映画版と比較をおこなったり、原作に関する批評の検討もおこなうなど、さまざまな角度からアメリカ演劇について考察する。 原作を英語で読み、作品に関する批評等も英語で読むので、受講生は必ず毎回予定している範囲を予習することが必要である。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 毎回、次の授業で読む範囲を予習すること。必ず辞書を使い、わからない単語や表現その他を細かく調べていることを前提とする。また複数回課題があるので、レポートを提出すること。			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. アメリカ演劇の特徴 3. テネシー・ウィリアムズと南部作家 4-6. ウィリアムズ作品を丁寧に読み、作品に見られるアメリカの特徴について考察する。 7. 中間のまとめ、発表 8-12. ウィリアムズの作品を丁寧に読み、作品にみられるアメリカの特徴について考察する。 13. まとめとレポート提出			
[成績評価方法] 授業への取組(40%)、レポート(60%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書 (ISBN)] 書籍名:A Streetcar Named Desire 著者名:Tennessee Williams 出版社名:New Directions ISBN:			
[参考書 (ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	米文学演習Ⅱa	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習		
担当者	木村 恵子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 字幕という字数の限られた翻訳を理解する。			
[授業概要] アメリカを舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] スクリプトを事前に配りますので読んでおいてください。			
[授業計画] 1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。 2. 映画を見る。あらすじをたどる。 3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。 4. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。① 5. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。② 6. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③ 7. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④ 8. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤ 9. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥ 10. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦ 11. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧ 12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨ 13. 全体のまとめ			
[成績評価方法] 授業への取り組み(60%)、レポート(40%)で評価。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	米文学演習Ⅱb	後期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習		
担当者	木村 恵子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 字幕という字数の限られた翻訳を理解する。			
[授業概要] アメリカを舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] スクリプトを事前に配りますので読んでおいてください。			
[授業計画] 1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。 2. 映画を見る。あらすじをたどる。 3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。 4－12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。 13. 全体のまとめ			
[成績評価方法] 授業への取り組み(60%)、レポート(40%)で評価。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	米文学特論 I a	前期	2 単位
サブタイトル	Eudora Weltyの作品から見るアメリカ南部		
担当者	坂元 敦子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] アメリカ南部作家による作品を英語で読み、単語や英語表現をじゅうぶんに理解したうえで、作品を通じたアメリカ南部の社会・文化の理解を深める。			
[授業概要] ユードラ・ウェルティはアメリカ南部ミシシッピ出身の作家であり、南部の人々やそのコミュニティを描いた短編の名手として知られている。彼女の作品は一見、人々のなにげない日常を描いているようでありながら、そのユーモアあふれる描写の背後には南部の抱えるさまざまな問題が隠れている。授業ではOne Time, One Place, Why I Live at the P.O., A Worn Pathなどを丹念に読み、南部の地理や情景をたどりながら、作品にみられるアメリカ南部の特徴・歴史・文化について考える。受講生は毎回テキストの指定範囲を丁寧に読み、各担当者が発表をおこなう。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で読む範囲について、単語を辞書で調べ、背景の時代をリサーチするなどして予習することが必要です。また複数回課題があるので、レポートを提出すること。			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. アメリカ南部について 3. 南部作家紹介 ユードラ・ウェルティについて 4. ～12. ウェルティほか作品を読み、アメリカ南部について考察する。発表をおこなう。 13. まとめ			
[成績評価方法] 授業への取組(40%)、レポート(60%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書 (ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			
[参考書 (ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	米文学特論 I b	後期	2 単位
サブタイトル	Eudora Weltyの作品から見るアメリカ南部		
担当者	坂元 敦子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] アメリカ南部作家による作品を英語で読み、単語や英語表現をじゅうぶんに理解したうえで、作品を通じたアメリカ南部の社会・文化の理解を深める。			
[授業概要] ユードラ・ウェルティはアメリカ南部ミシシッピ出身の作家であり、南部の人々やそのコミュニティを描いた短編の名手として知られている。彼女の作品は一見、人々のなにげない日常を描いているようでありながら、そのユーモアあふれる描写の背後には南部の抱えるさまざまな問題が隠れている。授業ではOne Time, One Place, Why I Live at the P.O., A Worn Pathなどを丹念に読み、南部の地理や情景をたどりながら、作品にみられるアメリカ南部の特徴・歴史・文化について考える。受講生は毎回テキストを英語で読み、各担当者が発表をおこなう。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 授業で読む範囲について、単語を辞書で調べ、背景の時代をリサーチするなどして予習することが必要です。また複数回課題があるので、レポートを提出すること。			
[授業計画] 1. イントロダクション 2. アメリカ南部について 3. 南部作家紹介 ユードラ・ウェルティについて 4. ～12. ウェルティほか作品を読み、アメリカ南部について考察する。発表をおこなう。 13. まとめ			
[成績評価方法] 授業への取組(40%)、レポート(60%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書 (ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			
[参考書 (ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	米文学特論Ⅱa	前期	2 単位
サブタイトル	ゴシック小説		
担当者	木村 恵子		

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]

アメリカ文学をゴシックの視点から見る。

[授業概要]

ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。

そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていくのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]

次週にテキストを読む場合は事前にその範囲を読んできてください。

[授業計画]

- 1 ゴシック小説の誕生について
- 2 イギリスにおけるゴシック小説(1)
- 3 イギリスにおけるゴシック小説(2)
- 4 イギリスにおけるゴシック小説(3)
- 5 アメリカンゴシックが生まれた背景
- 6 インディアンの存在
- 7 ピューリタニズムの影
- 8 魔女狩り
- 9 Cotton Matherについて
- 10 フロンティアの恐怖
- 11 アメリカゴシック小説の誕生—Charles Brockden Brown
- 12 Edgar Allan Poe (1)
- 13 Edgar Allan Poe (2)

[成績評価方法]

授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	米文学特論Ⅱb	後期	2 単位
サブタイトル	ゴシック小説		
担当者	木村 恵子		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。			
[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。 そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていくのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。			
[授業計画] 1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。 2 Nathaniel Hawthorne (1) 3 Nathaniel Hawthorne (2) 4 Henry James (1) 5 Henry James (2) 6 Southern Gothicについて(1) 7 Southern Gothicについて(2) 8 Southern Gothicについて(3) 9 Female Gothicについて(1) 10 Female Gothicについて(2) 11 Female Gothicについて(3) 12 Modern Gothicについて(1) 13 Modern Gothicについて(2)			
[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習a(英文学)	前期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	木村 恵子		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習a(英文学)	前期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	坂元 敦子		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習・研究・調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習a(英文学)	前期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	西出 良郎		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習a(英文学)	前期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	J. ファハード		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習a(英文学)	前期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	野末 紀之		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習b(英文学)	後期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	木村 恵子		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習b(英文学)	後期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	坂元 敦子		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習・研究・調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	論文指導演習b(英文学)	後期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	西出 良郎		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習b(英文学)	後期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	J. ファハード		
[実務経験のある教員による授業]			
[到達目標] 学位論文にふさわしい研究課題を設定し、十分な調査や研究を経て、その内容を論文に結実させる。 説得的で論理的な文章と構成を備えた論文を作成する。			
[授業概要] 学位論文を作成するための研究指導を行う。問題の発見手法、資料収集方法、英語論文の書き方等を指導する。			
[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。			
[授業計画] 受講生の学位論文作成進捗状況に合わせて調整する。			
[成績評価方法] 学位論文の進捗(50%)、発表(50%)			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	論文指導演習b(英文学)	後期	2 単位
サブタイトル	論文指導		
担当者	野末 紀之		
[実務経験のある教員による授業] [到達目標] 学位論文の作成 [授業概要] 学位論文を作成するために、演習、研究、調査を中心とした研究指導を行う。 [準備学修(授業前後の主体的な学修)] 学位論文の作成に向けて、自発的に資料収集を行い目指すべき課題に向けての用意を整えておくこと。 [授業計画] 学位論文の作成進度に合わせ、13回の授業計画を立てる。 [成績評価方法] 総合評価による。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			